

慶應義塾大学大学院
2024年度 商学研究科修士課程入試問題

英 語

以下の設問すべてに答えなさい。ただし、設問 1 と設問 2 は別の解答用紙を使い、問題番号を明記すること。解答は指定のない限りすべて日本語の文章で書くこと。所定の行数を超える答案は採点しない。

設問 1 以下の文章を読んで、次の問いにすべて答えなさい。

問1 下線部①の内容を具体的に説明しなさい。

問2 下線部②が言及することは何か。‘They’と‘us’を具体的に示したうえで説明しなさい。

問3 下線部③に関して (1) と (2) の問いに答えなさい。

(1) ” a shift in thinking” の内容を具体的に説明しなさい。

(2) なぜ, ” a shift in thinking”が必要なのか, 説明しなさい。

問4 下線部④について, その理由を 3 行以内で説明しなさい。

問5 下線部⑤の一文を, 文意が通じ, かつ文法的に正しい日本語に翻訳しなさい。

(出典 : Alex Edmans, *Grow the Pie: How Great Companies Deliver Both Purpose and Profit*,
Cambridge university press, 2020. 抜粋のうえ一部改編)

設問 2 以下の文章を読んで、次の問いにすべて答えなさい。

問1 AP 通信社はどのような存在と述べられているか、説明しなさい。

問2 下線部①は具体的に何を指すか、説明しなさい。

問3 次の(1)と(2)にあてはまる内容を簡潔に答えなさい。

下線部②を含むこの文章が肯定形であったら、Milena Djourelova の発見は(1)により起きた変化ではなく(2)による可能性が考えられる。

問4 次の『』内の(3)～(5)にあてはまる語句を答えなさい。

『下線部③のような結果は、別の通信社のデータを使った推計や他の政策では現れない。通信社のカタカナでの名前は(3)、他の政策は(4)と(5)である。』
また、(3)の通信社のデータを使ったときに現れない理由と、(4)・(5)の政策に現れない理由を簡潔に述べなさい。

問5 Milena Djourelova は下線部③をどのような手法で明らかにしているか、述べなさい。

(出典 : Tyler Smith, “The power of word choice—Does slanted language affect public opinion?”, Research Highlights, American Economic Association, April 4, 2023 より一部改編)